

## 総括質疑並びに一般質問

【質問日】令和7年2月28日（金）

### 【代表質問】

質問 順位	会 派	質 問 者	質 問 事 項
1	希 綱 会	松 野 信 作	<p>1 令和7年度当初予算について</p> <p>(1) 未来のまち創生整備基金積立金とあるが、この基金はどのようなものか。</p> <p>(2) 自治公民館等設置事業補助金事業については、補助対象を拡充されているが新規対象となるものは何か。</p> <p>(3) 永田排水機場改修事業については、令和7年度は実施設計であるが、今後のスケジュールは</p> <p>(4) 若手アーティストイベント事業については、どのような形で取り組んでいくのか。</p> <p>(5) 建設業等人材確保支援事業について</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 令和6年度の実績状況は</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 今後拡充する予定はないか。</p> <p>(6) 川内港背後地北側道路整備事業のスケジュール概要は</p> <p>(7) 学びの多様化支援事業について、教育支援センターとは何か。また、教育支援センターはどこに設置されるか。</p> <p>2 甌島内の工事箇所の検査及び現場管理について</p> <p>(1) 現在の検査体制は</p> <p>(2) タブレット、携帯電話等を活用したリモートによる管理はできないか。</p>
2	公 明 党	中 島 由 美 子	<p>1 2025年の今年、団塊世代が後期高齢者になり、高齢者が更に増えていくが、今後の課題と対策について</p> <p>(1) 本市の65歳以上の高齢者に関わる介護等における課題と対策は</p> <p>(2) 独居世帯の孤独防止のための対策はないか。</p> <p>(3) 共生社会の実現を推進するための認知症基本法施行を受けて本市の取組は</p> <p>2 災害時の「福祉的な視点」及び保健衛生環境の整備について</p> <p>(1) 本市の災害時の福祉的な視点はどのように考えるか。</p> <p>(2) 避難所における空調、洋式トイレ、プライバシー確保、お風呂等の環境整備は</p> <p>(3) 避難所になる体育館に空調整備はできないか。</p> <p>3 地方就職学生支援事業における本市の取組について</p> <p>(1) 地方就職学生支援事業とはどんな事業か。</p> <p>(2) どのような取組をしているのか。</p> <p>4 戦後80年の本年、次世代へつなぐ取組を</p> <p>(1) 戦後80年という大きな節目を迎えるが市長の認識は</p> <p>(2) 動物の生き様を元に命の大切さ、戦争の愚かさ等を文学を通</p>

			<p>して伝えてきた作家「椋鳩十」の生誕120年を生かした取組を図書館、学校でできないか。</p> <p>5 本市に有機農業拡大の取組を</p> <p>(1) 農業者数及び有機農業者数は</p> <p>(2) 2030年に向けて、有機農業拡大の動きがあるが本市の状況は</p> <p>(3) 就農者育成拠点施設を活用した有機農業の研修ができないか。</p>
3	創造薩摩川内	坂口健太	<p>1 令和7年度当初予算案について</p> <p>(1) 当初予算案に込めた田中市長の想い、そして第3次薩摩川内市総合計画前期基本計画の実現に向けた取組と市長マニフェスト「薩摩川内スマイルアクション50」の実現に向けた取組の特徴を伺う。</p> <p>(2) 歳出削減と歳入確保に向けた取組について伺う。</p> <p>ア 歳出削減に向けた取組の成果や廃止・休止された事業について</p> <p>イ 令和7年度当初予算編成に当たっての歳入確保について</p> <p>(3) 薩摩川内市中期財政運営指針の改定について伺う。</p> <p>2 薩摩川内スマイルアクション50と第3次薩摩川内市総合計画前期基本計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薩摩川内スマイルアクション50の4分野のスマイルアップ指標の取組や第3次薩摩川内市総合計画前期基本計画において重点的に取り組む戦略を示した、4つの重点戦略プランの取組について伺う。</li> <li>ア 少子化対策・子育て支援について</li> <li>イ 自主防災組織と自治会未加入世帯について</li> <li>ウ 自治会加入率等について <ul style="list-style-type: none"> <li>(ア) 転入者の自治会加入率について</li> <li>(イ) 外国人の自治会加入率について</li> <li>(ウ) 自治会に向けたDXの取組について</li> </ul> </li> <li>エ ダイバーシティの観点から高齢者の活躍推進について</li> <li>オ ごみのリサイクル率向上に向けた取組について</li> <li>カ 水道管基幹管路の耐震化と上下水道管の老朽化対策について</li> <li>キ 産業人材の確保について</li> <li>ク 畜産の振興について</li> <li>ケ ふるさと納税寄附額について</li> <li>コ 南九州西回り自動車道整備の進捗率について</li> </ul> <p>3 本市の防災・危機管理体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近年、自然災害が激甚化・頻発化していること、また、何より、本市には原子力発電所が立地しており、市民の身体及び財産を守るという市の責務は非常に重いものがあるという認識の下、伺う。</li> <li>ア 防災・危機管理スペシャリストの養成について</li> <li>イ 防災・危機管理組織の在り方について</li> <li>ウ 退職自衛官等の人材の活用について</li> </ul>

			<p>エ 原子力災害時の避難道路について  (ア) 避難道路の整備促進に向けた取組状況について  (イ) 鹿児島県原子力防災アプリの市民のインストール状況について  (ウ) 原子力災害と同時に自然災害が起こった際の避難道路の在り方について</p> <p>オ 川内川左岸の天辰地区河川敷の防災面への活用について  カ 新たな避難情報システムについて  キ 詰所等の消防団拠点施設の耐震対策について  ク 避難所資機材の取扱い方法の周知について</p> <p>4 本市の不登校対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本市においても、令和6年度現在、前年度と比較し新規の不登校児童生徒数は減少に転じたものの、不登校を継続している児童生徒数は過去最多となっていることから、不登校対策は喫緊の課題となっているという認識の下、伺う。</li> <li>ア スマイルルームを多様な学びの場とすることについて</li> <li>イ 不登校対策におけるICTの活用について</li> <li>ウ 中学校卒業後の不登校生の支援について</li> </ul> <p>5 各分野別・地域別の課題について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) CIO補佐官設置の検討は</li> <li>(2) 農業用水路の維持管理や費用負担の在り方は</li> <li>(3) 学校給食食材高騰対策事業は</li> <li>(4) 自習スペースの利用状況は</li> <li>(5) センノオトと向田公園の一体的な利用は</li> <li>(6) 学校体育施設開放事業登録者が学校施設の体育館を利用する場合に4月1日から電気料実費相当額は無償となるが閉校跡地の体育館についても同様に無償化を検討できないか。</li> <li>(7) 甕島地域への通信制高校の設置を検討・研究できないか。</li> </ol>
4	創志会	山元剛	<p>1 令和7年度施政方針及び施策の概要について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第3次総合計画に掲げた施策を推進するに当たり、主要6項目にポイントを置いている中で、特に2項目について具体的に分かりやすい見解を伺う。</li> <li>ア 薩摩川内スマイルアクション50の事業を展開していく中で、「人と経済が循環するまちづくり(サーキュラー都市)」の実現とあるが、どのような都市になれば達成なのか伺う。</li> <li>イ SDGs・カーボンニュートラルの達成に向け、人・モノ・経済・情報の循環の促進、資源循環の拠点化の取組で「サーキュラー都市・薩摩川内市」としてのブランディングの確立によるシビックプライドとは何か、市民に分かりやすい見解を伺う。</li> <li>(2) 2050年のカーボンニュートラルの達成に向け、次世代エネルギーの観点からも、原子力政策の推進は必要と考えているが、市長が考える原子力政策はどのようなものか見解を伺う。</li> </ol> <p>2 令和7年度予算編成方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本市は健全で持続可能な財政運営を確立することを目標としているが、令和5年度決算では、普通会計の実質収支は黒字であるものの、実質単年度収支は赤字となっており、実質単年度</li> </ul>

			<p>収支の赤字継続は、自治体の財政に深刻な影響を与え、財政の持続可能性を損なうと考えるが、本予算案は、財政の安定的な運営に配慮した内容となっているか、市長の見解を伺う。</p> <p>3 令和7年度予算案における歳入及び歳出並びに関連する事項について</p> <p>(1) 骨太2024の予算編成において、地方創生支援として新たな交付金が創設され、従来の交付金から倍増となっているが、本市の取組を伺う。</p> <p>(2) 地方公共団体の情報システムの標準化が進められ、デジタル技術を活用した効率的な財政運営が求められるが、情報の共有や業務の効率化を図るために、システムの統一やコスト削減、ガバメントクラウドの導入はどのように進められるのか伺う。</p> <p>(3) 歳入について</p> <p>ア 固定資産税について、家屋分が約29億6,800万円と増額計上された理由について説明を求める。また、令和5年度に施行された「相続等により取得した土地所有権の国庫への帰属に関する法律」により、相続などで取得した土地を国に寄附できる制度が始まったが、これらの施策が固定資産税に与える影響についての見解を伺う。</p> <p>イ 令和7年11月から適用される新たな排ガス規制に対し、本市も税制や駐輪場の見直し、市民への周知など、様々な対応策を講じる必要があると思うが、原動機付バイク等の取り扱いと税収や市の施設等への影響について伺う。</p> <p>ウ 市民税の個人分は約5億円増の38億7,100万円、法人分は約2,000万円減の6億1,670万円となっている算出根拠について説明を求める。</p> <p>エ 地方特例交付金については、3億円の予算減額となっているが、3億円の減額となる理由について説明を求める。</p> <p>オ 原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金について、具体的な説明を求めるとともに、新規事業である「未来のまち創生整備基金積立」についての詳細を明らかにされたい。</p> <p>(4) 歳出における新規事業の具体的な内容について説明を求める。</p> <p>ア サーキュラー都市ブランディングプロジェクト</p> <p>イ 藺牟田池ラムサール条約登録20周年記念事業</p> <p>ウ (仮称) 上甕島診療所整備事業</p> <p>エ 薩摩川内・英国語学研修事業</p> <p>オ 就農者育成拠点施設研修事業</p> <p>カ 向田公園遊具施設整備事業</p> <p>4 米やガソリン、野菜などの価格高騰が市民生活に大きな影響を及ぼしているが国との連携を含め、現在の本市における具体的な物価高騰対策についての対応状況を伺う。</p> <p>5 学校体育施設については、これまでスポーツ少年団利用の無償化を求めてきたが、本年4月1日から無償化となるとの報告があった。これについての詳細な説明を求める。</p>
--	--	--	--